

ショート動画や切り抜き動画が生む 誤解とそのリスク



現在、SNSにおける短い動画、いわゆる「ショート動画」が人気となっています。また、長い動画の内容を短くまとめた「切り抜き動画」と呼ばれる形式も広く見られます。こうした動画は短くて見やすい反面、情報の伝わり方に注意が必要な場合があります。では、どのような点に気を付ける必要があるでしょうか。

「ショート動画」と「切り抜き動画」

ショート動画とは、主にスマートフォンでの視聴を前提とした、数秒から数十秒程度の短い動画のことです。多くの場合、画面をスワイプ※すると次の動画に切り替わる仕組みになっており、短時間でたくさんの動画を視聴できるのが特徴です。また、切り抜き動画とは、長い動画の一部を抜き出し、短く編集編集したものを指します。ショート動画の中にはこの切り抜き動画も多く含まれています。

※スワイプとは画面に指を軽く触れたまま、任意の方向に指を滑らせる操作のこと

ショート動画・切り抜き動画の注意点

ショート動画の注意点

限られた時間の中で内容を伝えるため、言い方が簡潔になったり、印象に残りやすいように表現が誇張される傾向があります。その結果、本来の意味合いよりも極端な印象になったり、一面的な理解につながる場合があります。

切り抜き動画の注意点

長い動画の一部を抜き出しているため、本来の文脈や前後の説明が省略されている場合があります。そのため、発言の意図とは異なる受け取り方をされることがあります。

このようにショート動画や切り抜き動画は、見る人に事実とは異なる印象を与えてしまう可能性があります。フェイクニュースのように騙すことを目的とした情報とは異なり、**事実**に則した内容であっても、**見せ方や伝え方によって受け取り方が変わる**ことがある点に注意が必要です。

指導の要点

ショート動画や切り抜き動画はわかりやすく、見やすく作られているので子どもたちもついつい見てしまいがちです。ただ、その反面、ここまで述べたようなリスクもありますので、その性質を子どもたちにしっかり教えておく必要があります。「**内容が誇張されているかも**」、「**本来の内容が大きく省略されているかも**」といった、**見たままをそのまま受け取らない姿勢**を育てることが求められます。



様々な情報源に触れさせることも効果的です。